

1429 975

「不都合な報告」非公表



米軍替天間飛行場の移設先、名
護市辺野古沿岸部で始まった新
たな護岸の建設工事 = 8月

た。県側が不信感を増幅させるのは必至だ。

▼見切り発車 「不確実な要素を抱えたまま、見切り発車した」。玉城「一現知事は、軟弱地盤問題に伴う設計変更の不承認を表明した今月二十日」の記者会見で、移設を推し進める政府を批判した。県の担当者は「沖縄防衛局は軟弱地盤を明確に認めめず、一九年の年明けにようやくトータを出した」と対応の遅さを憤る。

見切
文庫

▼見切り発車
「不確実な要素を抱えた
まま、見切り発車した」。
玉城「二一現知事は、軟弱
地盤問題に伴う設計変更の
不承認を表明した今月二十
五日の記者会見で、移設を
不承認を表明した今月二十
五日の記者会見で、移設を
推し進める政府を批判し
た。県の担当者は「沖縄防
衛局は軟弱地盤を明確に認め
めず、一九年の年明けに「
うやぐトータを出した」と
対応の遅れを憤る。

防衛省が米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設先となる名護市辺野古沿岸部に軟弱地盤が広がる懸念を「〇一五年度間に業者がかり指摘されていた」としが、情報公開請求に基づいて文書で証明した。一四年に初当選した当時の翁長雄志知事（故人）が移設に反対する中、政府は「不都合な報告」を非公表として、日米合意に沿った埋め立て工事に着手し

辺野古移設を巡る経過

- 2013年 ▶ 政府が沖縄県名護市辺野古沿岸
3月 部の埋め立て申請

12月 ▶ 仲井真弘多知事が埋め立て承認

14年8月 ▶ 防衛省沖縄防衛局が海底ボーリング調査開始

11月 ▶ 移設反対の翁長雄志氏が知事選初当選

15年4月 ▶ 地質調査業者が「土木的問題が多い地盤が厚く堆積」「長期の沈下が考えられる」と沖縄防衛局に報告

▶ 安倍晋三首相と翁長氏が初会談

10月 ▶ 翁長氏が承認取り消し。その後、國との法廷闘争で敗訴確定

17年4月 ▶ 政府が埋め立て護岸工事に着手

18年9月 ▶ 玉城デニー氏が知事選初当選

12月 ▶ 土砂投入開始

20年4月 ▶ 軟弱地盤の改良工事のため、政府が県に設計変更を申請

21年11月25日 ▶ 島が設計変更不承認

卷之三

県側の不信感増幅

移設の計画

名謹市長選候補者

油井義郎（来
日長選）

な防衛省の説明文書を不承認とした。辻本氏は「(吉良選く)」と指摘。因に米軍再編交付金に頼らざりても保育料、学校の給食費、子ども医療費の無償化は継続であると強調した。

東氏から埋め立て本部を獲得したのを離脱し、銀長里政下でも移設へ家臣連れて

での政府対応に問題はないか
との認識を示してい
る。

た

・民主党政権が針を維持。